

# 自ら学び、自ら育てる意欲ある人づくり 個性豊かな魅力ある町づくりを目指して

◆第51回◆  
金山町公民館大会  
◆第29回◆  
金山町生涯学習推進大会

11月3日(月)「文化の日」、金山町中央公民館で、恒例の「金山町公民館大会・生涯学習推進大会」が、日ごろ公民館活動や地域づくりに取り組んでいるみなさん約350名の参加を得て盛大に開催されました。

公民館大会51回目の今回は公民館活動の原点となる地区・地域活動のあり方に主眼を置いて、「自ら学び、自ら育てる意欲ある人づくり・個性豊かな魅力ある町づくり」がメインテーマです。まちづくりの先進事例の講演と、町内各地域の実践者によるパネルディスカッションに、参加者のみなさんは、熱心に耳を傾けていました。



**宝物を  
どう活かせるか**  
講演・アドバイザー  
石川県七尾市一本杉町会長  
北林 昌之さん

始めは、石川県七尾市一本杉町会長の北林昌之さんを講師に招いての講演です。「まちづくりは町づくり」と題して、衰退著しかった七尾市の一本杉通りを元気なまちに変えた取り組みの様子とまちづくりに対する意気込みを熱く語っていただきました。一本杉通りは、昔から門外不出で仕舞い込まれていた「花嫁のれん」を町屋を活かして展示し、「語り部処」などによる「まちなか観光」を進めて全国的に有名な地区で、今年6月、当町の区長研修で訪問し、北林さんに説明いただき大変感銘を受けてきました(本紙6月号参照)。



**できることから  
「じいじつと」**  
パネラー  
中田地域・下中田  
千川原 憲さん

にぎやかに行われます。主寝坂道路の整備などによる転居で戸数・人口が著しく減少し、地区の運営でも役員のなり手や、行事への参加者が少ないなどという問題があります。

## 課題解決の策は?

**高橋さん** 参加者数を増やすには、女性の参加を促すことにより地域内の認知度を上げることだと思います。  
**千川原さん** 人口減少で何もしないままです。衰退していきばかり。地域全体の課題を各地区の住民が共有できるようにな会議の持ち方をすべきだと思います。



**子どもたちは  
地域の宝物**  
パネラー  
西郷地域・板橋  
高橋 芳夫さん

回廊「づくりを進め、春にはいたるところで美しい桜並木が見られます。これからは、自分たちの地域をもっと知る必要があると、山形大学人文学部との連携で「地域学」として漆野や谷口の固有の資源や自然、文化の再発掘に取り組んだり、豊かな農地を活かした特産品開発にも挑戦しています。

もいます。

子どもから大人までが一緒になって意見交換のできる中田地域公民大会があればいいと思います。地域の再編という意見もありますが、まずは小さなことでもできることから「じいじつと」やっていきたいです。

**丹さん** 何の行事でも100%の参加は無理。実行することに意義があると思います。伝統芸能の番楽で世代を超えた交流ができていますので、これを広げることによって地域の活性化につながると思います。

**大場さん** 若い世代は面倒くさいと思いがちだが、先頭に立って進めるリーダーを養成することが、地区のみならず町全体として必要なことだと思います。先輩から受け継いだものを次の世代に伝えていくことが大事です。



**小野寺さん** 年代間のギャップを感じています。若い人たちは、地域の行事にただ参加するだけではなく、自分たちが楽しめ、やりがいのあるものにしていくべきです。そのことから地域

れる若者が少なく、消防団員が中心の活動になっていきます。

**丹さん** 有屋地区区長公民館長連絡協議会が軸となって、有屋小学校を中心にした行事や、グリーンバレー神室や遊学森、風の丘公園など地域にある施設との連携や活用の取り組みのほか、地域公民館講座などを実施していますが、参加人数の問題がいつも出ます。

**大場さん** 地域が2つの小学校区に分かれており、明安地域は明安小学校行事に合わせた活動を、田茂沢・蒲沢地域では旧田茂沢分校の道草ぶんこうを拠点にした活動を行っています。役員の手が足りないなどの理由で婦人会組織をなくした地区も出てきていますが、組織のあり方を議論する必要があります。地域活性化のためには、少子化対策も大事な問題として議論してほしいものです。

**高橋さん** 地域のシンボルにと「桜

とのつながりに広がります。大好きな金山の町に若者たちが残っている楽しい金山にしたいと思っています。

**コーディネーター・荒木さん** 若い世代から頼もしい状況を聞くことができました。小野寺さんの意見は本質だと思えます。伝承芸能に携わってきた人の話を聞くと、大概の方が、見せるためよりも、演じ終わってみんなで飲むことが楽しいということだそうです。人、仲間との「つながり」を本能的に求めているのでしょうか。

共通の問題は参加者が少ないということ、とにかく足を運んでほしいということのようです。子どもが関わるということが出されましたが、「子どもは人を浴びて育つ」といわれています。「人とのつながり」をシャワーのように浴びて育ち大人になっていきま

**実行すること  
意義がある**  
パネラー  
有屋地域・稲沢  
丹 憲明さん

す。これから地域を担っていく人間に育っていくには、「人と人とのつながり」が必要です。そうやってきたのが今の地区役員の人たちの姿ではないでしょうか。(次のページにつづく)